

# 令和3年度ホタテガイ採苗情報（第6報）

令和3年5月21日



発行：岩手県水産技術センター  
 協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター  
 関係漁業協同組合

**唐丹湾で付着稚貝減少、ラーバ増加。野田湾で付着稚貝増加後急減。**

## < 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は9.2℃で昨年度同時期と比較して約1℃低くなっています。透明度は15mでした。
- 唐丹湾において、ホタテガイ付着稚貝が268個/袋（採苗器8日間垂下）確認され、1週間あたりの付着数に換算すると減少しました（640個→235個/袋/週）。釜石湾平田においても、同規模の付着が確認されました。野田湾において、付着稚貝数の急激な増減が確認されました。
- 唐丹湾のホタテガイラーバは、殻長200μm未満の小型個体が259個/m<sup>3</sup>、200μm以上の大型個体が79個/m<sup>3</sup>確認され、ラーバ数が大きく増加しました（100個→338個）。

## < 青森県の状況（5月20日発行ホタテガイ採苗速報（第6号）） >

西湾で付着終盤。東湾ではさらに付着の見込み。

## < 宮城県の状況（5月13日発行ホタテガイ採苗通報（第4報）） >

ホタテガイラーバはわずか。付着稚貝は継続して確認。

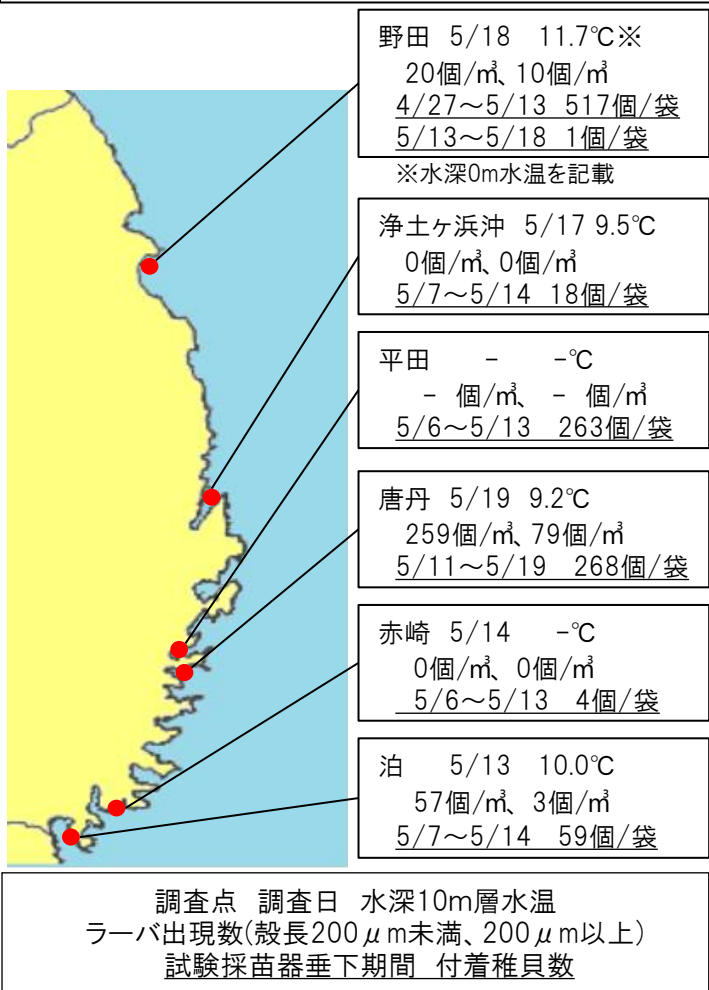


図1 各定点の調査結果  
 (国土地理院地図 国土地理院HPより)

次報は、5月25日頃に  
 発行する予定です。

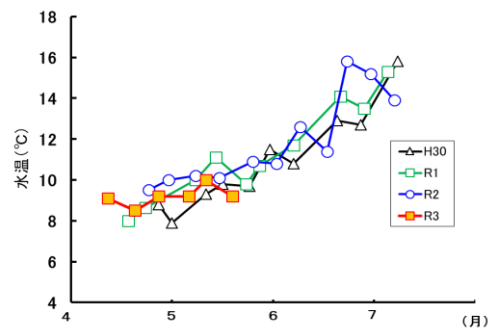


図2 唐丹湾における水深10m水温

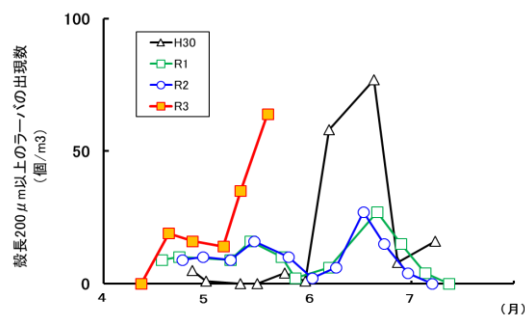


図3 唐丹湾における殻長200μm以上ラーバ出現数

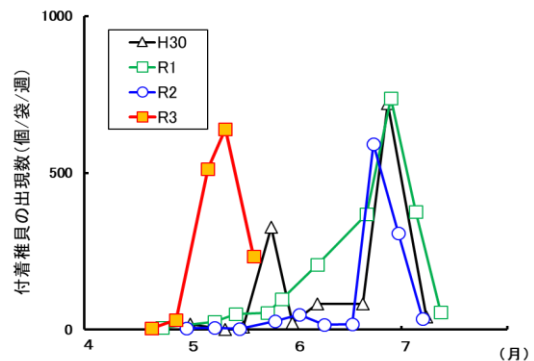


図4 唐丹湾における1週間あたりの付着数